

原発 そこが問題だ

第7号

2022年2月7日

原発反対の会・吹田

wasser861.a@pure.zaq.jp

原発は地球温暖化対策に役立たない それどころか生態系を破壊し、温暖化に弱い

1 原発はクリーンで地球温暖化防止に役立つのか

- ・政府はクリーンを理由に原発の再稼働を増やしていますが、
- ①温排水を海（河川）に流しており、クリーンどころか環境を破壊する
 - ・標準的な 100 万 kw の原発の場合、1 秒間に 70 トンの海水の温度を 7℃上げます。
 - ・原発の生態系破壊の基本的構造（第3号参照）
 - 1) 取水の際生態系の基礎になるプランクトンや稚仔魚がまず取水口で注入される殺生物剤で殺傷され、2) ついで原発内の復水器を通過する際の熱で死滅する。3) さらに、温排水で生態系が破壊する。という3段階になります。
- ②原発は発電工程以外では二酸化炭素を発生する（第3号参照）
 - ・さらに、温排水による海温上昇で二酸化炭素（地球上の大部分の二酸化炭素は海中にある）が発生します。

2 原発は温暖化を促進するし温暖化に弱い

- ①2018年の世界的熱波で何が起こったか
 - ・フランスでは、温排水の上限があり、37～40℃の熱波で8月4日、4基の原発を停止させました。
 - ・ドイツでは、28℃以上の温排水を川に戻すことを禁止しています。40℃ほどの熱波で、2つの原発の出力を低下させました。
 - ・その他のヨーロッパ諸国でも原発の出力抑制が相次ぎました。
 - ・日本では取水温度と放水温度の差は7℃以下との覚え書があるだけで、温排水温度の規制はなく停止や出力低下をしなかったが、ドイツなどに倣えば川内原発の放水温度 35℃では当然停止しなければなりませんでした。
- ②温暖化と原発は生態系悪化の相乗効果となる
 - ・温排水自体海水・河川の温度を約7℃も上昇させて生態系を破壊しており、これ以上の海温上昇は許されません。福島原発事故でほとんどの原発が停止したため、海水温度の変化などでプランクトンや稚魚、海藻などが戻ってきたという報告があります。あらためて温排水が生態系を破壊していたことが明確になりました。

街を村をふるさとを
くらしを未来を子どもたちを 放射能から守ろう

スタンディングアピールに参加下さい（JR千里丘駅東口・毎月11日17時～）